

なら子ども発達支援センターふぁ～すと 回答

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の人数によって、多い時は遊戯室で行ったりクラスを分けたりして、更にスペースを広げるなどの配慮を今後も引き続き行っていきます。 ・部屋を移動して過ごすなど、様々な部屋で過ごすといった環境の変化にも順応できる力が身につくように考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・基準では利用児4名に対し職員1名となっていますが、利用児の特性や様子からさらに職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の特性に沿って、座る位置を替えるなど必要な環境構成を行い、支援に活かしています。また、言葉に視覚補助も必要に応じて取り入れています。 ・全体的な環境構成では、動線を考えて机、椅子等を配置しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、掃除や消毒などを行い、清潔な空間を保っています。
適切な支援の提供	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いの機会を持ち、問題解決に努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの希望があれば、いつでも見学や相談の時間を取るようにしています。その中での要望、意見などは常に職員間で話し合い、改善につなげています。保護者向け評価表を活用し創意工夫、向上につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表結果を法人ホームページに掲載していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して業務改善に努めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加するようにしています。また、外部研修の情報は、職員全員が周知できるように、回覧または掲示を行ってしています。 ・Web研修も積極的に取り入れて、全員が参加できる機会を増やしています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様との面談でニーズをしっかりと聞いた上で計画の作成をしています。 個別、集団など全員でカンファレンス会議を行い、共通理解のもと、児童発達支援計画を立てています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用前に共通の個人票に記入して頂いたものを使用しています。 見学时、初回面談時に利用者の行動特性や診断内容をもとに支援内容を検討し、進めています。
	⑫ 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士・看護師・保育士が、それぞれ専門的に関わり、個人のカンファレンスを行い一丸となって発達を促す支援を行っております。 保護者様の思いを尊重し、気持ちに寄り添った支援を心がけています。保育所等訪問、各幼保小の連携、特別支援学校、就学指導委員会とも連携を行っています。地域との連携も含めて今後も積極的に行ってまいります。支援計画書は、ガイドラインに添った計画書の作成に努めます。
	⑬ 個別支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に沿った支援を行っています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 専門職と保育士で週案会議を行い立案しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 週案会議で季節や子ども達の特性に合わせた内容を検討しています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 専門職と保育士が個別と集団の活動を連携して作成しています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝のミーティングで支援内容、役割分担を確認しています。休日の職員は業務日誌等を通して確認しています。 職員間でコミュニケーションを取りながら業務にあたっています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 各クラス職員間で振り返り等を行っています。また、保護者様から得た情報は、翌日のミーティングでの共有、または、記録を回覧しています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> 個人記録は、担当を決め記録しています。また、全体に必要な記録は回覧したり、個人ファイルを活用しています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に行っている保護者面談と、随時行っているカンファレンスでもモニタリングを行い、見直しをしています。
関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 開催された時には精通している職員が参加しますが、現状会議はほとんどありません。保護者様との面談より、園やご家庭での様子をうかがい、支援計画を作成しています。
	㉒ 子ども・子育て支援等の各市町村の関係機関と連携した支援を行っているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて連携を取っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
係機関や保護者との連携	⑳ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	・入園後の幼稚園・保育所との連携は行っています。また、情報の共有・相互理解に努め、各市町村の教育委員会や保健センターとも連携しています。
	㉑ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	・就学前の小学校や特別支援学校（小学部）との連携を行い、情報の共有・相互理解に努めています。
	㉒ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	4	・児童発達支援の研修に積極的に参加し、法人内の児童発達支援センターからの情報収集や助言を受けています。研修にも積極的に参加しています。
	㉓ 保育所や認定こども園、幼稚園等と連携はとっているか	13	0	・必要に応じて連携を取っています。利用児の様子を共有しながら、支援の方法等をお伝えしています。
	㉔ （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	4	・橿原市の協議会に子ども部会が発足したので、積極的に参加していきたいと思っております。
	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	・送迎時や電話、LINE等でお子様の様子を伝え合い、共通理解ができるようにしています。見学も随時来て頂けるようにしています。また、面談も必要に応じてその都度実施させて頂いています。
	㉖ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9	4	・特別なペアレント・トレーニングは行っていませんが、初利用は必ず親子通園からスタートして頂き、保護者様の気持ちを尊重し寄り添いながら、共に育ちをサポートしていけるよう助言等させて頂いています。 ・職員がペアレントトレーニングの研修に随時参加しています。 ・保護者様の悩みをうかがった時は、家庭での対応や言葉のかけ方などを伝えられるようにしています、
	㉗ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	0	・利用開始前に重要事項・契約書をお渡ししています。また、見学時に当法人の理念・方針、また療育内容を説明させて頂いております。
	㉘ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	13	0	・保護者様と面談を行い、利用児の療育内容と目標を決めて作成し、確認のうえ署名して頂いています。
	㉙ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	0	・職員から積極的かつ日常的に、保護者様から相談しやすいようにコミュニケーションを取ると共に、相談があった時には適切な助言や支援を行うようにしています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	③③ 保護者同士の交流や日々の悩み等を気軽に話す場の提供をされているか	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会・保護者会はありませんが、今年度毎日通園療育では、保護者参観時に遊戯室を開放し、保護者様同士で交流がもてる場を提供させて頂きました。今後も継続していく予定です。 ・親子療育の時には保護者同士の交流を時々設けていますが、回数をもう少し増やせるよう努めていけたらと思っています。
	③④ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも対応できるようにしています。
	③⑤ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、定期的に療育内容のスケジュールを記載し伝えています。ご利用時に毎回支援提供記録でその日の様子や支援目標を記入し、保護者様への発信をしています。
	③⑥ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が十分に注意しています。
	③⑦ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様それぞれのニーズに合わせた伝達の方法を検討しています。
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人で作成したマニュアルを利用しています。保護者様への周知は迅速に行えるようにLINEを使用しています。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月25日頃に火事や地震を想定した避難訓練を実施しています。また、消防署の協力を得て、年に一度施設の自衛消防訓練を実施しています。
	④⑩ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこと目の状況を確認しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に服薬・てんかん発作の確認は行っていますが、予防接種の状況までは確実に確認できていたとは言えません。個人票の見直しをしていますので、そこでの確認を徹底していく予定です。
	④① 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーを持つ利用児には、診断書の提出で除去等の対応をし、食事を提供しています。
	④② ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの報告を徹底し、ビデオ録画にて確認できる様に努めています。その後、振り返りの話し合いと報告を行い、事故防止に努めています。 ・いつでも閲覧できるよう共有しています。
	④③ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県で公表されています虐待防止の資料等に基づきセンター内で研修を行います。 ・また虐待防止研修会に積極的に参加して、職員に周知しています。
	④④ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は、いかなる場合でも行っていません。他害、自傷がある時も、拘束ではなく事前に止めることを行っています。

児童発達支援 すてっぷ 回答

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	0	・療育内容によっては、落ち着いて取り組める環境を構成するために、同室でも空間的に机を離すなどして対応しています。適切なスペースで過ごせるよう配慮しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	0	・基準では利用児5名に対し職員1名となっています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	0	・視覚的にわかりやすいように絵カードや写真等を掲示し、動線を考えて机、椅子等を配置しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	・毎日の掃除と消毒などで清潔な空間を保っています。
適切な支援の提供	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	0	・定期的に職員会議を設け、職員で話し合い業務改善や問題解決に努めています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	・保護者様からの希望があれば、いつでも見学や相談の時間を取るようにしています。その中でのご要望、意見などは常に職員間で話し合い、改善につなげています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	・評価表結果を法人ホームページに掲載していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	3	・研修を通して業務改善に努めています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	・積極的に参加するようにしています。また、外部研修の情報は、職員全員が周知できるように、回覧または掲示を行ってしています。 ・Web研修も積極的に取り入れて、全員が参加できる機会を増やしています。
適切	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	0	・保護者様との面談でニーズをしっかりと聞いた上で、計画の作成をしています。 ・個別、集団など全員でカンファレンス会議を行い、共通理解のもと、児童発達支援計画を立てています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	・共通の個人票を用意し、それを利用前にお渡しし記入して頂いています。 ・見学时、初回面談時に利用者の行動特性や診断内容をもとに支援内容を検討し、進めています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士・看護師・保育士が、それぞれ専門的に関わり、個人のカンファレンスを行い一丸となって発達を促す支援を行っております。 ・保護者様の思いを尊重し、気持ちに寄り添った支援を心がけています。保育所等訪問、各幼保小の連携、特別支援学校、就学指導委員会とも連携を行っています。地域との連携も含めて今後も積極的に行ってまいります。支援計画書は、ガイドラインに添った計画書の作成に努めます。
	⑬ 個別支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に沿った支援を行っています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職と保育士で週案会議を行い立案しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・週案会議で季節や子ども達の特性に合わせた内容を検討しています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職と保育士が個別と集団の活動を連携して作成しています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のミーティングで支援内容、役割分担を確認しています。欠勤の職員は業務日誌等を通して確認しています。 ・職員間でコミュニケーションを取りながら業務にあたっています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス職員間で振り返り等を行っています。また、保護者様から得た情報は、翌日のミーティングでの共有、または、記録を回覧しています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人記録は、担当を決め記録しています。また、全体に必要な記録は回覧したり、個人ファイルを活用しています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている保護者面談と、随時行っているカンファレンスでモニタリングを行い、見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・開催された時には精通している職員が参加しますが、現状会議はほとんどありません。保護者様との面談で園やご家庭での様子をうかがい、支援計画を作成しています。
	㉒ 子ども・子育て支援等の各市町村の関係機関と連携した支援を行っているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて連携を取っています。
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、実施する機会がありませんでしたが、今後とも保護者様からの要望等あれば対応してまいります。
	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、実施する機会がありませんでしたが、今後とも保護者様や学校等より要望があれば対応してまいります。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
175	②⑤ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	・児童発達支援の研修に積極的に参加し、法人内の児童発達支援センターからの情報収集や助言を受けています。研修にも積極的に参加しています。
	②⑥ 保育所や認定こども園、幼稚園等と連携はとっているか	3	0	・必要に応じて連携を取っています。利用児の様子を共有しながら、支援の方法等をお伝えしています。
	②⑦ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	0	・橿原市の協議会に子ども部会が発足したので、積極的に参加していきたいと思っております。
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	・送迎時や電話、LINE等でお子様の様子を伝え合い、共通理解ができるようにしています。見学も随時来て頂けるようにしています。また、面談も必要に応じてその都度実施させて頂いています。
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	0	・特別なペアレント・トレーニングは行っていませんが、初利用は必ず親子通園からスタートして頂き、保護者様の気持ちを尊重し寄り添いながら、共に育ちをサポートして頂けるよう助言等させて頂いています。 ・職員がペアレントトレーニングの研修に随時参加しています。 ・保護者様の悩みをうかがった時は、家庭での対応や言葉のかけ方などを伝えられるようにしています、
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	・利用開始前に重要事項・契約書をお渡ししています。また、見学時に当法人の理念・方針、また療育内容を説明させて頂いています。
	③⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	3	0	・保護者様と面談を行い、利用児の療育内容と目標を決めて作成し、確認のうえ署名させて頂いています。
	③⑫ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	・職員から積極的かつ日常的に、保護者様から相談しやすいようにコミュニケーションを取ると共に、相談があった時には適切な助言や支援を行うようにしています。
	③⑬ 保護者同士の交流や日々の悩み等を気軽に話す場の提供をされているか	0	3	・現在交流の場は設けておりません。
	③⑭ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	・いつでも対応できるようにしています。
	③⑮ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	・毎月、定期的に療育内容のスケジュールを記載し伝えていきます。ご利用時に毎回支援提供記録として伝票でその日の様子や支援目標を記入し、保護者への発信をしています。
	③⑯ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	0	・職員全員が十分に注意しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	③⑦ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	・保護者様それぞれのニーズに合わせた伝達の方法を検討しています。
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	0	・法人で作成したマニュアルを利用しています。保護者様への周知は迅速に行えるようにLINEを使用しています。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	・毎月25日頃に火事や地震を想定した避難訓練を実施しています。
	④⑩ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のことものを状況を確認しているか	3	0	・利用前に服薬・てんかん発作の確認は行っていますが、予防接種の状況までは確実に確認できかねています。
	④① 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	・食事を摂る機会はありませんが、食物アレルギーの有無については、利用前の面談等で知らせて頂いています。
	④② ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	・ヒヤリハットの報告を徹底し、事故防止に努めています。 ・いつでも閲覧できるよう共有しています。
	④③ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	・奈良県で公表されている虐待防止の資料等に基づきセンター内で研修を行います。 ・また虐待防止研修会に積極的に参加して、職員に周知しています。
	④④ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	2	1	・身体拘束は、いかなる場合であっても行っていません。